

## 宇都宮の環境（環境状況報告書 令和元年度版）について

## 1 環境状況報告書 令和元年度版（以下「報告書」という。）について

宇都宮市環境基本条例に基づき、環境基本計画に掲げる計画の基本理念や目指す環境都市像の実現に向けた取組の実施状況や指標の進捗状況等について点検を行い、毎年度の状況を報告書として取りまとめ公表するもの

## 【参考】宇都宮市環境基本条例（抄）

第19条 市長は、毎年度、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書を作成し、公表する。

## 2 報告書の内容及び進捗状況の確認方法等について

## (1) 報告書の内容について

報告書には、第3次環境基本計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）の平成30年度（計画開始3年度目）における計画の指標に係る進捗状況や各施策の実施状況を記載するほか、本市の環境に関する統計情報等を資料として掲載する。

## (2) 進捗状況の確認方法等について

進捗確認については、計画全体及び個別の施策それぞれに対して行う。

## ア 計画全体の確認方法

計画全体の進捗確認については、重点戦略に掲げた「事業の取組状況（注1）」及び「成果指標の進捗」によって確認する。

## イ 個別の施策の確認方法

個別の施策の進捗確認については、5つある各環境分野における基本施策の体系別に行うものとし、「事業の取組状況（注1）」及び「各指標の評価（注2）」によって確認する。

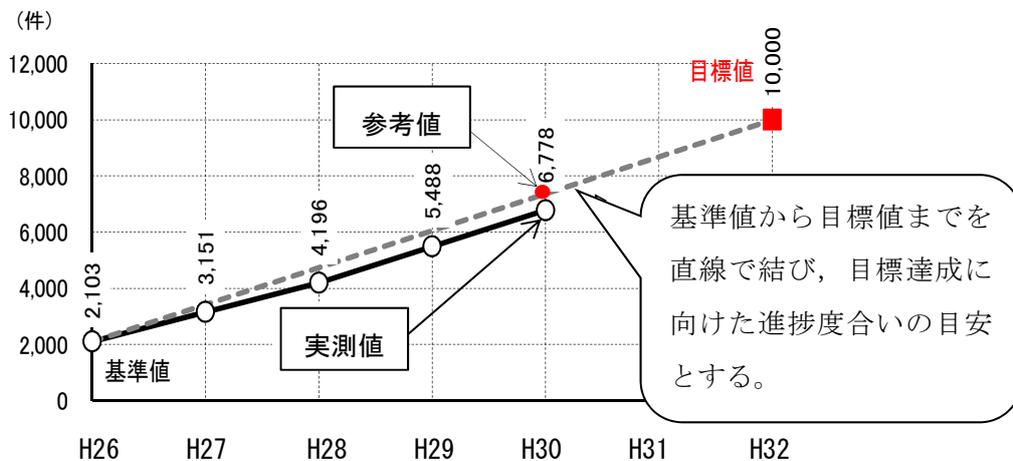
## （注1）事業の取組状況の確認方法

本計画からの新規事業及び取組を拡大した事業の取組状況を中心に確認する。

## （注2）指標の評価方法

指標の評価方法は、それぞれ目標として設定している年次・指標に対し、基準値から目標までを直線で結び、各年度の参考値※1を設定し、その参考値に対しての達成率※2により進捗状況を確認する。

※1 「参考値」のイメージ



※2 参考値に対する達成率の評価は、以下のとおり設定する。(環境基本計画策定時の行政評価基準に準じる。)

【参考値に対する進捗状況】

90%以上：A      70%以上：B      70%未満，基準値未満：C

### 3 計画の進捗状況について

(1) 計画全体の進捗状況について※別冊 及び別紙1 参照

- 重点戦略に掲げた事業の取組状況については、計画3年を迎え事業全てにおいて進展が見られることから、取組状況は順調といえるが、成果指標については上昇、後退の状況がはっきり分かれる形となった。
- 成果指標のうち、「自然環境の豊かさに関する愛着度」に関しては3年連続上昇しているが、「市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量」及び「市民一人当たりの二酸化炭素排出量」については基準年度から比較して増加している状況であり、より一層の取組強化が求められる。

⇒ 今後、取組の強化が必要な分野については、これまで以上に地球温暖化対策実行計画や一般廃棄物処理基本計画などの関連する個別計画と連携しながら具体的な取組を着実に進めていく必要があるとともに、個別分野の取組状況や指標との関係性を分析し、目標に向けたより効果的、積極的な事業の展開について検討が必要である。

(2) 個別の施策の進捗状況について ※ **別冊** 及び **別紙2** 参照

- ・ 個別分野における事業の取組状況については、重点戦略に掲げた事業の取組状況と同様に、新規・拡充事業において事業の充実が図られるなどの進展が見られることから、取組状況は順調といえる。
  - ・ 指標については、計38の指標のうち、10の指標で達成率が100%以上、また、「A」、「B」の評価が8割以上となっており、事業の進捗は概ね良好であると言えるが、一方で、評価がCとなった一世帯当たりのCO2排出量やリサイクル率などについては、計画初年度から進捗が遅れている状況。
- ⇒ 進捗が遅れているものについては、引き続き状況の分析を詳細に行うとともに、目標達成に向けての効果的な取組や指標のあり方を含め抜本的な対応策の検討を行う。

【参考】

	平成29年度	平成30年度	備考
評価A (90%以上)	28 (うち17の指標が100%以上)	24 (うち10の指標が100%以上)	AからBへ降格 3件 AからCへ降格 1件
評価B (70%以上)	5	8	
評価C (70%未満, 基準値未満)	5	6	

4 宇都宮の環境 環境状況報告書(案)について

**別冊**のとおり

5 今後のスケジュール

令和2年 1月28日(火) 環境審議会

2月 下旬 本市ホームページ等で状況報告書を公開